

# 柳田卓哉さん

Yanagida Takuya



9月17日に行われた「歌と絵本」には、約70人の子ども達が参加しました。



## 楽しむことが大切

**西当別** 小学校に今年4月に着任した、柳田卓哉校長は中学生の頃に趣味で始めたギターの腕前を活かして、昼休みなどを活用し、子どもに歌と絵本の楽しさを伝えています。「歌と絵本」活動を始めたそのきっかけと想いを伺いました。

**大学** を卒業後、教師になり、子ども達と楽しい毎日を送りたい。何か面白くできないか考え、趣味で続けてきたギターと一緒に歌おうと思ったのが「歌と絵本」活動のきっかけです。まずは、「自分が楽しいと思うことをやる。自分が楽しいと思わなければ、何を教えても子どもには伝わらないし、理解してくれない。」そんな思いで始めました。でも自分で楽しいと思うことが、全員に受けられるわけではないので、もちろん上手くいかない場面も何度もありましたよ。そんな時は、素直に反省して次回に繋がられるよう、歌う曲目や読む絵本のジャンルなど工夫し、子ども達に

喜んでもらえるよう試行錯誤しながら続けてきました。

**絵本** の読み聞かせには理由があって、幼児期からテレビ番組やDVD鑑賞などに慣れてしまうと、絵本に親しむ機会が必然的に減ってしまいます。活字離れが懸念されている近年、絵本に親しむことは、字を覚えるだけではなく、子ども達の想像力・発想力の向上にも大きな期待ができるので、歌と絵本の読み聞かせは、良い組み合わせなのかもしれませんね。現在は、月に1度、お昼休みを利用し、「ときめきルーム」を会場に「歌と絵本」活動を開催しています。4月に初めて行った時、どんな反応があるのか不安でしたが、終了後のキラキラした眼差しと笑顔の子ども達を見て、ホッとしたのと、嬉しかったですね。参加してくれた子ども達が少しでも絵本に興味を持つきっかけになれば、自分がこれまで続けてきた意味があったと思います。

**いま** までは、学校内での活動に留まっていますが、今後は町民の皆さんと積極的に交流を深め、歌と絵本の楽しさを伝えたいと思います。実は、今年7月、西当別コミュニティセンターで開催されたシーズンコンサートに参加させていただきました。参加者と共に楽しい時間を過ごすことができました。私で役に立つのであれば、西当別小学校校長という立場ではなくて、1人の町民として協力していきたいと思っています。また、保育園や高齢者施設などにも訪問して、たくさんの方とふれあい、歌と絵本の楽しさを共有したいですね。

今回の取材で何度かお聞きした「楽しい・楽しむ」という言葉には、柳田さんから子ども達への愛情がたくさん込められているのを感じました。これからも「楽しい」時間をたくさん作ってあげてください。「歌と絵本」は10月も予定されています。

(9月18日取材)